

# 訪問介護

## 自分らしく暮らす手助け



利用者の自宅を訪問し介護するホームヘルパー（共同）

高齢に伴う身体機能の低下や、病気やけがなどで日常生活が困難になることがあります。病院や施設ではなく、できるだけ住み慣れた自宅で暮らすための手助けが介護保険の「訪問介護サービス」です。支援内容や検討時期について、ケアタウン総合研究所の高室亜由子代表に話を聞きました。

## 食事や入浴など支援

要介護1で月の上限約1万6000円  
(自己負担1割の場合)

訪問介護は、介護保険に含まれる「居宅サービス」の一種で、ホームヘルパーが定期的に自宅を訪れ入浴や食事、

掃除といった日常生活を支えます。対象は「要介護1〜5」の認定を受けた人です。料金は、所得に応じて総額の1〜3割負担となり、サービス内容や時間などによって異なります【表参照】。利用には、まず近くの地域包括支援センターへ相談しましょう。方、「要支援1〜2」の人は市区町村が実施する同様の事業を受けられます。

訪問介護のサービス内容は「身体介護」「生活援助」「通院等乗降介助」の3つに分かれます。「身体介護」は体に直接触れる支援を指します。食事や入浴、着替えのほか、寝たきりで床ずれ防止のために体勢を変えることも含まれます。「生活援助」は掃除や洗濯、買い物などを代行します。一人暮らしや同居家族が障がいなどで家事を行えない場合を対象とします。要介護度によ

利用者料金の目安(1割負担の場合)		
サービス	内容・時間	金額
身体介護	20分未満	163円
	20分以上30分未満	244円
	30分以上1時間未満	387円
	1時間以上1時間半未満	567円
生活援助	20分以上45分未満	179円
	45分以上	220円
通院等乗降介助	乗車・降車など	97円

※利用者の所得や居住地などで金額は異なる  
※厚生労働省の資料を基に作成

「通院等乗降介助」は通院のために利用する介護タクシーへの乗降を介助します。自力で乗り降りの困難な人が対応が担います。一方、通院等乗降介助の範囲は病院外までです。病院内の介助や受診の同行はできません。ただし、介護保険適用外の自費負担でホームヘルパーの付き添いも可能です。利用する際の注意点は、1カ月の上限額が決まれている点です。訪問介護は、ただし、周りの家族が強制することなく、まずは「困りごとはないか」と本人に寄り添うのが鉄則です。

つて上限回数を設定されています。ただし、本人や家族の状況からケアマネジャーが判断して市区町村に相談し認められると同回数を越えることもありま。

「通院等乗降介助」は通院のために利用する介護タクシーへの乗降を介助します。自力で乗り降りの困難な人が対応が担います。一方、通院等乗降介助の範囲は病院外までです。病院内の介助や受診の同行はできません。ただし、介護保険適用外の自費負担でホームヘルパーの付き添いも可能です。利用する際の注意点は、1カ月の上限額が決まれている点です。訪問介護は、ただし、周りの家族が強制することなく、まずは「困りごとはないか」と本人に寄り添うのが鉄則です。

日常の小さな異変  
利用検討の合図  
骨折や脳梗塞で入院した場合は、病院のソーシャルワーカーに退院後の生活や必要なサービスについて相談しやすいです。しかし、在宅で静かに進む認知症への対応には注意が必要です。「料理の段取りが悪くなった」「家が散らかってきた」といった日常の小さな異変が、サービスの利用を検討する合図です。ただし、周りの家族が強制することなく、まずは「困りごとはないか」と本人に寄り添うのが鉄則です。

### 利用者の事例

訪問介護を利用している人の事例を三つ紹介します。

#### 【事例1】

娘夫婦と同居している80代女性のAさんは、心疾患や大腿骨骨折の既往歴があり、軽度の認知症も見られる要介

事例1	年齢	80代
	世帯	娘夫婦と同居
	要介護度	2
	サービス	食事の準備と服薬介助を平日に1時間
	月額	約9700円



護2の状態です。平日の日中に家族が仕事で外出するため一人きりになります。このため、家族が用意した食事の温めや決まった時間に薬を飲むサポートを依頼しています。平日に1回1時間利用して、料金は1割負担で月額約9700円です。

#### 【事例2】

70代男性のBさんは一人暮らしで、脳疾患による右半身

事例2	年齢	70代
	世帯	一人暮らし
	要介護度	1
	サービス	買い物と掃除を週1回1時間
	月額	約1200円



まひの要介護1です。週に1回1時間利用しています。家事を可能な限り自分でしたいため、一人で持ち運びの難しい飲料水や野菜などの買い出しをホームヘルパーが担っています。また、掃除も依頼しています。料金は1割負担で月額約1200円です。

#### 【事例3】

姉と同居する80代女性のCさんは要介護1です。肺の病

事例3	年齢	80代
	世帯	姉と同居
	要介護度	1
	サービス	掃除と買い物を週2回各30分、通院介助を月1回
	月額	約4300円



気で移動には酸素ボンベが欠かせません。週2回の生活援助を利用し、掃除や週末に向けた買い出しを各30分ずつ行っています。さらに、月1回は公共交通機関で総合病院へ行くための通院介助も受けています。院内での移動や会計サポートといった保険外のサービスを組み合わせ、自費負担も含めて、料金は月額約4300円です。